

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第2区分  
 【発行日】平成22年2月12日(2010.2.12)

【公開番号】特開2007-193320(P2007-193320A)  
 【公開日】平成19年8月2日(2007.8.2)  
 【年通号数】公開・登録公報2007-029  
 【出願番号】特願2006-344284(P2006-344284)  
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/02 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/02 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月21日(2009.12.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

トナー像を担持する像担持体と、前記像担持体に接触し、電圧が印加されて前記像担持体上のトナー像を転写材へ転写し、温度が高くなると抵抗値が低くなる接触転写部材と、前記接触転写部材の前記抵抗値が変化するように、前記接触転写部材を加熱もしくは冷却する抵抗値変更手段とを備えて、

前記転写材の抵抗値が高くなると、前記抵抗値変更手段は前記接触転写部材の温度を低くして、前記接触転写部材の抵抗値を高くするモードを実行することを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

前記抵抗値変更手段は、前記接触転写部材に接触して前記接触転写部材を冷却する冷却部材と、前記接触転写部材に接触して前記接触転写部材を加熱する加熱部材を備えることを特徴とする請求項1の画像形成装置。

【請求項3】

トナー像を担持する像担持体と、前記像担持体に接触し、電圧が印加されて前記像担持体上のトナー像を転写材へ転写し、温度が高くなると抵抗値が低くなる接触転写部材と、前記接触転写部材の前記抵抗値が変化するように、前記接触転写部材を加熱もしくは冷却する抵抗値変更手段とを備えて、

前記転写材が厚くなると、前記抵抗値変更手段は前記接触転写部材の温度を低くして、前記接触転写部材の抵抗値を高くするモードを実行することを特徴とする画像形成装置。

【請求項4】

前記抵抗値変更手段は、前記接触転写部材に接触して前記接触転写部材を冷却する冷却部材と、前記接触転写部材に接触して前記接触転写部材を加熱する加熱部材を備えることを特徴とする請求項3の画像形成装置。

【請求項5】

トナー像を担持する像担持体と、前記像担持体に接触し、電圧が印加されて前記像担持体上のトナー像を転写材へ転写し、温度が高くなると抵抗値が低くなる接触転写部材と、前記接触転写部材の前記抵抗値が変化するように、前記接触転写部材を加熱もしくは冷却する抵抗値変更手段とを備えて、

前記トナー像が転写される際に前記転写材が移動する方向に直交する方向における、前

記転写材の長さが短いと、前記抵抗値変更手段は前記接触転写部材の温度を低くして、前記接触転写部材の抵抗値を高くするモードを実行することを特徴とする画像形成装置。

**【請求項 6】**

前記抵抗値変更手段は、前記接触転写部材に接触して前記接触転写部材を冷却する冷却部材と、前記接触転写部材に接触して前記接触転写部材を加熱する加熱部材を備えることを特徴とする請求項 5 の画像形成装置。